

「小松商工会議所景気見通し調査」

結果報告書

調査期間 令和 4年 12月

小 松 商 工 会 議 所

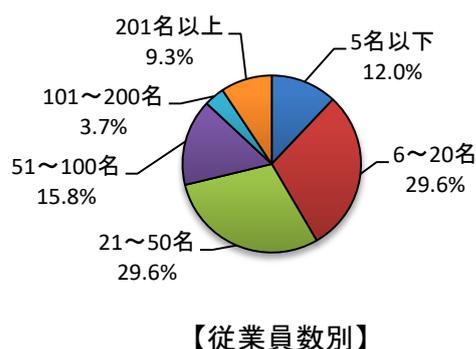
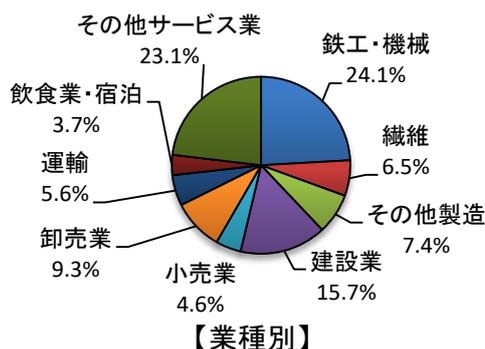
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 224社

回答企業数 108企業（回答率 48.2%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		3	8	6	2	7	26
	繊維	1	1	2	3			7
	その他製造	1	2	2	2	1		8
建設業		1	6	9	1			17
小売業		2	1		2			5
卸売業		2	6	1		1		10
サービス業	運輸		2	1	2		1	6
	飲食業・宿泊	1	2	1				4
	その他サービス業	5	9	8	1		2	25
合計		13	32	32	17	4	10	108



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI値 ……DI値(ディフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前期 ……令和4年度第2四半期(令和4年7月～9月)

今期 ……令和4年度第3四半期(令和4年10月～12月、但し12月は見込み)

来期 ……令和4年度第4四半期(令和5年1月～3月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景況感……………DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売上高……………DI値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	8	4	1	1		2	4	1	1		3	1	5	3
不変	16	17	5	4	6	4	12	13	3		6	8	25	27
悪化	2	5	1	2	2	2	1	3	1	5	1	1	4	4
無回答													1	1
総計	26		7		8		17		5		10		35	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

【今期：好転の理由】

今期の受注は良かった（鉄工・機械）
引き合いの増加（鉄工・機械）
主要顧客の発注量の増加（鉄工・機械）
例年の傾向を踏まえて（鉄工・機械）
建機業界の年度初めからの部品調達の遅れの改善やコロナ感染の状況の改善があり、生産台数が伸びたため（鉄工・機械）
プレス機械の上昇、アタッチメント部品の上昇（鉄工・機械）
受注が不安定、月ごとに上下する（繊維）
工事案件(引き合い)が増加傾向となっている（建設業）
受注の増加（建設業）
年末はいつも忙しくなるため（建設業）
災害関連工事があるため（建設業）
色々な企業との取引が増えた（建設業）
コロナ環境への順応した人員流動による消費機会の増加とエネルギーなどの物価上昇（小売業）
個人行動が自由になった（卸売業）
コロナの対応も分かり、経済活動が動き出した（卸売業）
クーポンなどの利用やお歳暮時期など繁忙期に入ったため（卸売業）
下期に入り、輸送需要は旺盛である（運輸）
年末のシーズンだから(忘年会等)（飲食業・宿泊）
客足が伸びた（飲食業・宿泊）
公共事業の増加（その他サービス業）

【今期：不変の理由】

今期も、前期と変わらない生産量を維持している為（鉄工・機械）
高操業継続見通し（鉄工・機械）
主要客先が好調を維持しているのを受けている（鉄工・機械）
受注は好調であるが、原材料・燃料費の高騰により収益圧迫（鉄工・機械）
主力の大型観光バス生産無し、建機・工作機械関係部品は高水準（鉄工・機械）
昨年同時期と比べて、受注、売上とも増加方向であるが、外注の染色代金、電気料金、原料仕入価格他の値上げで利益は下方向（繊維）
受注はあるものの、原材料とエネルギーコストの増加によって赤字（繊維）
円安に伴う輸出関連品目の増加が想定される（繊維）

自動車生産が内示より下振れしており余りよくない。売上単価は値上げを実施したが、それ以上に原燃料費等の上昇が厳しい（繊維）
売上高等の変化はないが、原材料等の価格上昇により、利益が下降する（建設業）
仕入価格の大幅な上昇が売価に一部反映できた（建設業）
災害復旧等の受注あり、売上高は上昇した（建設業）
官公庁工事発注状況については特に変わりなし（建設業）
収支の大きな変動はない（建設業）
ここ数年好調でありそれが継続的に続いている（建設業）
仕事は増加している（建設業）
顧客の買い控えがある（小売業）
原油価格、為替が安定（小売業）
建機・工作機械業界の生産稼働に変化なし（卸売業）
材料費が高騰しているが、ある程度価格転嫁できている（卸売業）
仕入単価も上がりその分売上単価も上げざるを得なかったが、売上高は変わらず（卸売業）
主要取引先であるコマツが好調であるため（運輸）
新型コロナウイルスの影響が少なくなってきた（飲食業・宿泊）
20人以下の忘年会（飲食業・宿泊）
自助努力（その他サービス業）
コロナの行動制限の緩和により、人の動きがでてきたため（その他サービス業）
全国旅行支援の影響により、乗降客数・売上高がコロナ禍前近くまで回復した（その他サービス業）
コロナ後の需要回復（その他サービス業）
国庫補助の案件が多く、売上計上(入金)までに時間を要する為（その他サービス業）
3年に一度定期的にくる仕事があるため（その他サービス業）
大きな変化はない（その他サービス業）

【今期：悪化の理由】

12月～2月の3カ月は冬期間となり、出荷量が大きく減少するため（その他製造）
ここへ来て今ひとつ動きが悪くなっている（卸売業）
人の動きは少し増えたが、少人数のため採算悪い（その他サービス業）
コロナ感染拡大に伴う、法人、個人の消費行動の抑制が見られる（その他サービス業）
住宅着工が少なくなっている（その他サービス業）
ある程度お金の余裕がある方は変わっていないが、そうでない場合のお金に対する厳しさが増している気がする（その他サービス業）

【来期：好転の理由】

安定した受注状況（鉄工・機械）
例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
受注が不安定、月ごとに上下する（繊維）
工事案件(引き合い)が増加傾向となっている（建設業）
仕入価格の大幅な上昇が売価に一部反映できた（建設業）
色々な企業との取引が増えた（建設業）
個人行動が自由になった（卸売業）
3年に一度定期的にくる仕事があるため（その他サービス業）

【来期：不変の理由】

高操業継続見通し（鉄工・機械）
今期と大きな変化はないと考える（鉄工・機械）
多少の凸凹はあるが、高止まり状態である（鉄工・機械）
世界的に景気後退であるが、数か月単位では不変と考える（鉄工・機械）
プレス機械の上昇、アタッチメント部品の上昇（鉄工・機械）
1月の生産は少し減少する予定となっているが、2月-3月は期末もありそれほど、減少せずに行く予想なため（鉄工・機械）
材料値上げ分を少しずつではあるが価格に反映できるようになっている（鉄工・機械）
建機業界の主要輸出先の北米の景気減速の懸念とコロナ感染の拡大による生産調整がありそう なため。部品調達の遅れは今後も続くと思う（鉄工・機械）
主要客先の好調は変化していないが、一部海外への調達先変更を要請されたために売上ダウン になると、原材料価格が低下し製品単価もそれに倣ってダウンするも副資材等の価格転嫁が 出来ていない（鉄工・機械）
昨年同時期と比べて、受注、売上とも増加方向であるが、外注の染色代金、電気料金、原料仕入 価格他の値上げで利益は下方向（繊維）
同じ状態が続く（繊維）
売上高は現時点で安定しているが、エネルギー価格の高騰等に不安がある（繊維）
今期から好転する材料はあまりない（繊維）
一段と落ち込みが予想される（その他製造）
公共工事の予算高（建設業）
これ以上のインフレにより、仕入れ価格の大きな変化があれば、利益率が下降する事は目に見え ている（建設業）
官公庁工事発注状況については特に変わりなし（建設業）
収支の大きな変動はない（建設業）
引き続き年度末も忙しい為（建設業）
年度末は、仕事があると考え（建設業）
この期間大型物件を受注し一時的に売り上げは上がるが単価が悪いため利益は上がらない。資 金繰りはこれまでの内部留保があるため余力がある（建設業）
コロナの影響が減少すると思われる（卸売業）
日本経済は徐々に好転するものと思われる（卸売業）
回復を見込める動きがない（卸売業）
建機・工作機械業界の生産稼働に変化なし（卸売業）
電気代の値上げで、様々な負の要因が見込まれるため（卸売業）
前半は季節柄毎年下がり3月以降上がる見込み（卸売業）
主要取引先であるコマツが好調であるため（運輸）
受注の間隔（運輸）
引き続き来期も継続して需要はある（運輸）
新型コロナウイルスの影響が少なくなってきた（飲食業・宿泊）
今期と同じくシーズン(繁忙期)だから(新年会等)（飲食業・宿泊）
コロナの影響で、宴会をする機会が減った（飲食業・宿泊）
不透明の部分がある（その他サービス業）
この状況は、継続すると思われるから（その他サービス業）
大きな変化はないと予想（その他サービス業）
数の増加に期待している（その他サービス業）

回復するが、売上増・単価上昇には繋がらない（その他サービス業）
国庫補助の案件が多く、売上計上(入金)までに時間を要する為（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

生産台数減（鉄工・機械）
バス関係、2月中旬から4月末まで生産無し（鉄工・機械）
半導体不足で、機械出荷ができていない（鉄工・機械）
計画では受注量が減少する（鉄工・機械）
12月～2月の3カ月は冬期間となり、出荷量が大きく減少するため（その他製造）
原材料、燃料等全ての価格上昇により、収益圧迫予想（建設業）
物価高と不安感がある（小売業）
円高、原油高、金利の上昇（小売業）
人員の流動がインフルエンザ・コロナの不安感からの抑制にて消費機会の減少（小売業）
大雪予想と閑散期に入るため（卸売業）
物価高騰の影響が考えられる（その他サービス業）
エネルギーを含む管理費・仕入原価の上昇（その他サービス業）
冬時期は動かない（その他サービス業）
格差がもっと広がる気がする（その他サービス業）

(1)-2 DI値

(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	▲ 8.3	23.1	▲ 3.8
	繊維	0.0	0.0	▲ 14.3
	その他製造	0.0	▲ 25.0	0.0
	製造計	▲ 5.1	9.8	▲ 4.9
非製造業	建設業	▲ 10.0	17.6	▲ 11.8
	小売業	▲ 42.9	0.0	▲ 100.0
	卸売業	37.5	20.0	0.0
	サービス業(運輸含む)	0.0	2.9	▲ 2.9
	非製造計	▲ 2.9	9.1	▲ 11.9
全体		▲ 3.7	9.3	▲ 9.3
改善予測		1.8	▲ 18.6	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械が、前期 ▲ 8.3ポイントから、今期 23.1ポイントと持ち直したが、来期は、▲ 3.8ポイントと再び下降の見通し。繊維は、前期・今期ともに 0.0ポイントと横ばいだったが、来期は、▲ 14.3ポイントと下降の見通し。その他製造は、前期 0.0ポイント、今期 ▲ 25.0ポイント、来期 0.0ポイントと、どの業種も上昇下降の波が大きい。

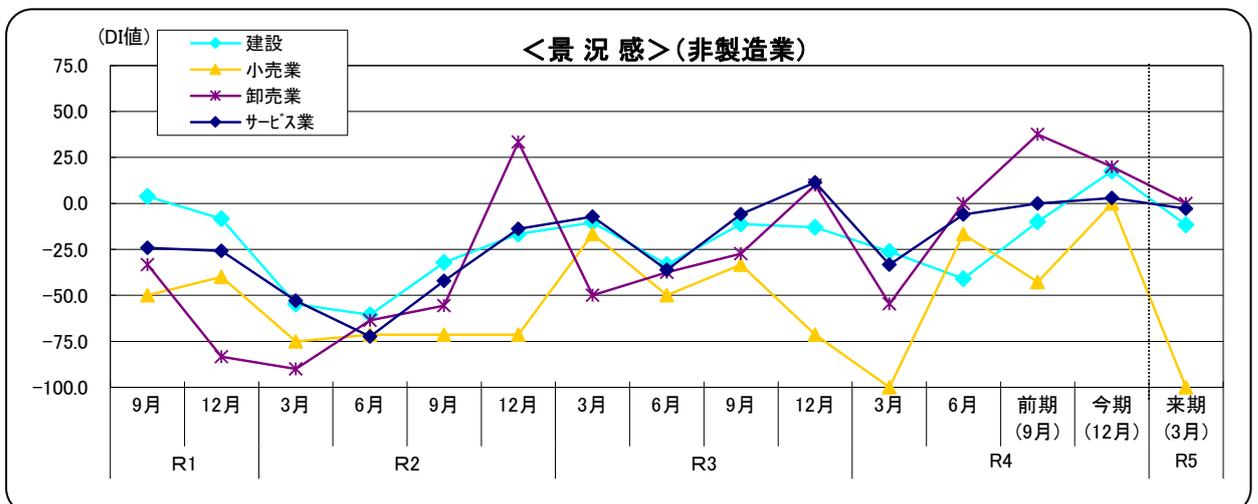
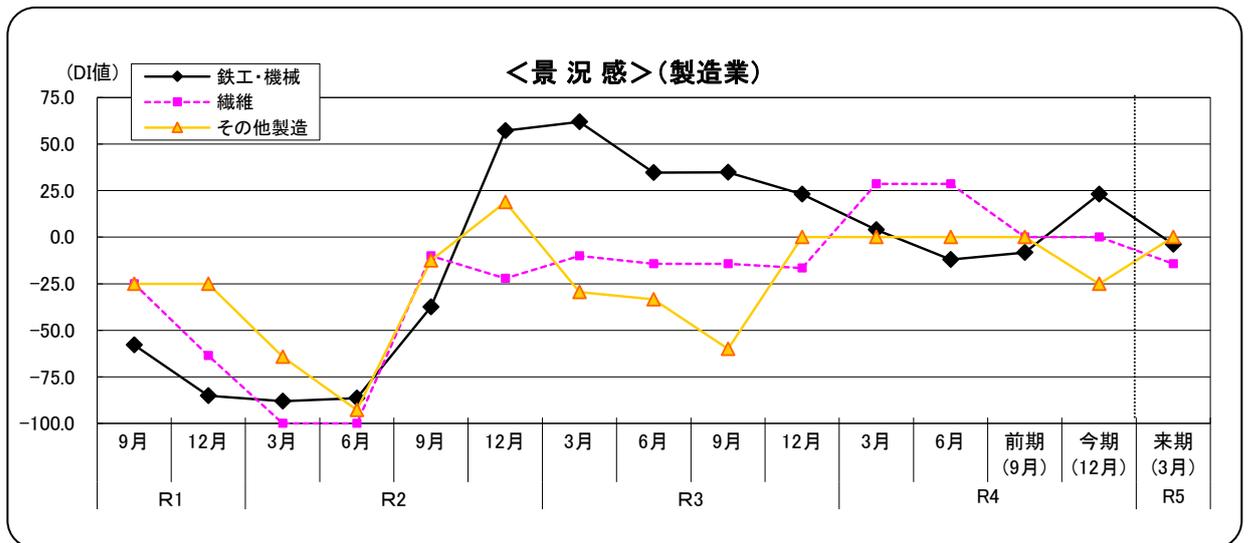
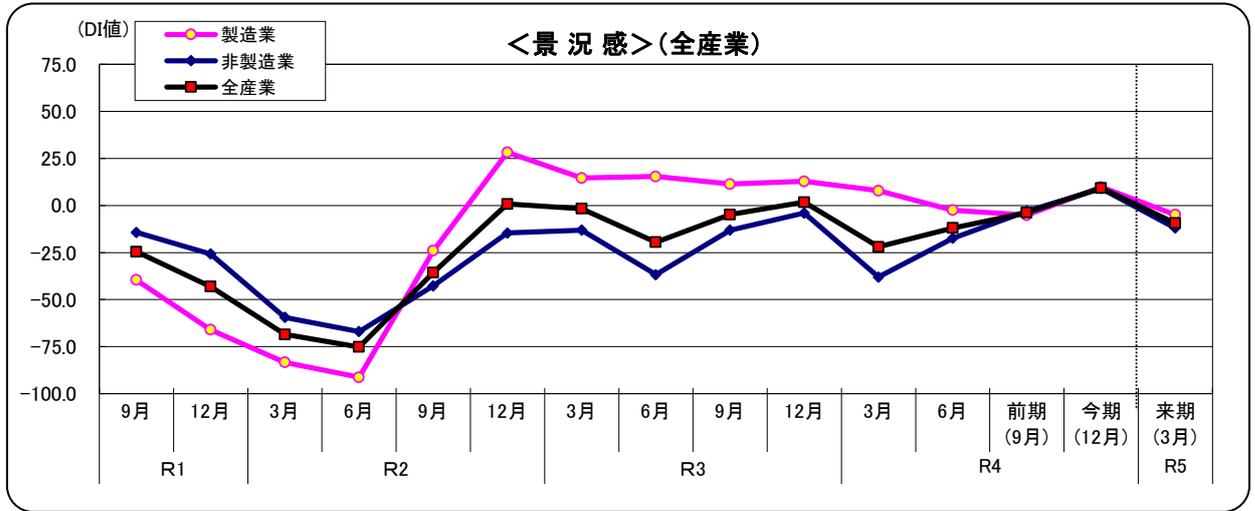
非製造業については、建設業が、前期 ▲ 10.0ポイント、今期 17.6ポイント、小売業が、前期 ▲ 42.9ポイント、今期 0.0ポイント、卸売業が、前期 37.5ポイント、今期 20.0ポイント、サービス業が、前期 0.0ポイント、今期 2.9ポイントと改善傾向であったが、来期は下降する見通しである。

全体については、前期 ▲ 3.7ポイント、今期 9.3と3期連続上昇していたが、来期 ▲ 9.3と、▲ 18.6ポイントの大きな落ち込みが予想される。

新型コロナ第8波拡大の影響や円安、原油・原材料価格の高騰が多く業種の利益を圧迫し、価格転嫁できても追いつかない状態である。また人手不足も深刻で、対応に苦慮し、また収益

アップの機会を逃している企業もある状態ある。

(1)-3 年次別の推移



※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より
(単位:DI)

区分	今期(R4.12)			来期(R5.3)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	9.8	▲ 2	2	▼ ▲ 4.9	▼ 0	▼ ▲ 2	41社
非製造業	9.1	8	10	▼ ▲ 11.9	▼ 1	▼ 3	67社
全体	9.3	4	6	▼ ▲ 9.3	▼ 1	▼ 1	108社

(1)－(5)景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和4年度第3四半期)の状況 (単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	23.1	23.1	15.4	3.8	▲ 3.8
繊維	0.0	0.0	57.1	▲ 14.3	▲ 28.6
その他製造	▲ 25.0	12.5	25.0	▲ 25.0	▲ 50.0
建設業	17.6	17.6	11.8	0.0	▲ 17.6
小売業	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 40.0
卸売業	20.0	20.0	20.0	▲ 10.0	20.0
サービス業	2.9	29.4	11.4	5.9	▲ 8.6
全体	9.3	20.6	16.7	▲ 1.9	▲ 12.0

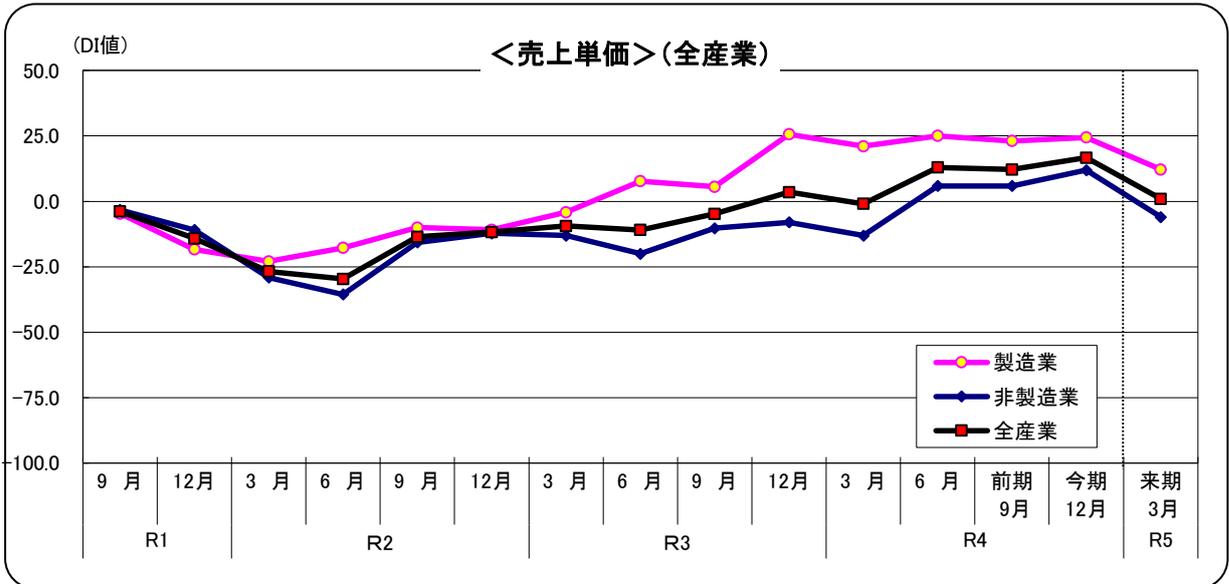
来期(令和4年度第4四半期)の見通 (単位:DI)

業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	▲ 3.8	▲ 7.7	7.7	▲ 11.5	▲ 7.7
繊維	▲ 14.3	▲ 14.3	28.6	▲ 28.6	▲ 14.3
その他製造	0.0	25.0	12.5	▲ 25.0	▲ 37.5
建設業	▲ 11.8	0.0	5.9	0.0	▲ 29.4
小売業	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 80.0
卸売業	0.0	▲ 10.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0
サービス業	▲ 2.9	2.9	▲ 8.6	▲ 2.9	▲ 11.4
全体	▲ 9.3	▲ 3.7	0.9	▲ 10.3	▲ 18.5
改善予測(今回)	▲ 18.6	▲ 24.3	▲ 15.8	▲ 8.4	▲ 6.5
改善予測(R4.9)	1.8	1.9	▲ 3.5	7.3	11.0
改善予測(R4.6)	2.7	7.4	▲ 9.3	1.8	3.7

(3) 売上単価

(単位:DI)

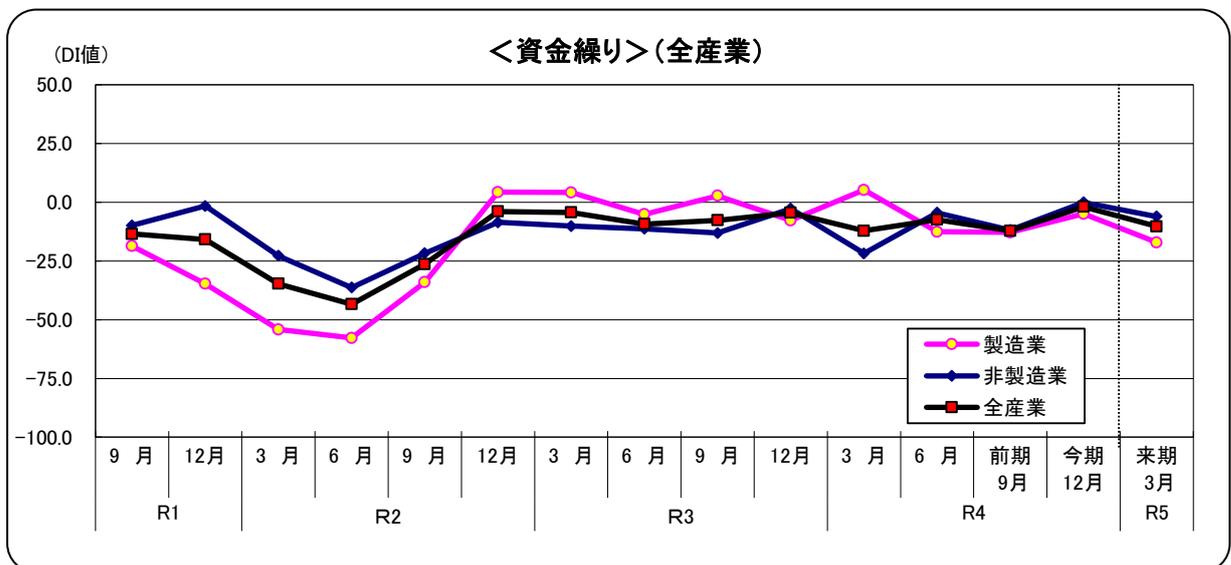
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	7.7	28.6	12.5	12.2	5.9	▲ 40.0	0.0	▲ 8.6	▲ 6.0	0.9
今期	15.4	57.1	25.0	24.4	11.8	0.0	20.0	11.4	11.9	16.7
前期	20.8	57.1	0.0	23.1	5.0	▲ 42.9	12.5	15.2	5.9	12.1



(4) 資金繰り

(単位:DI)

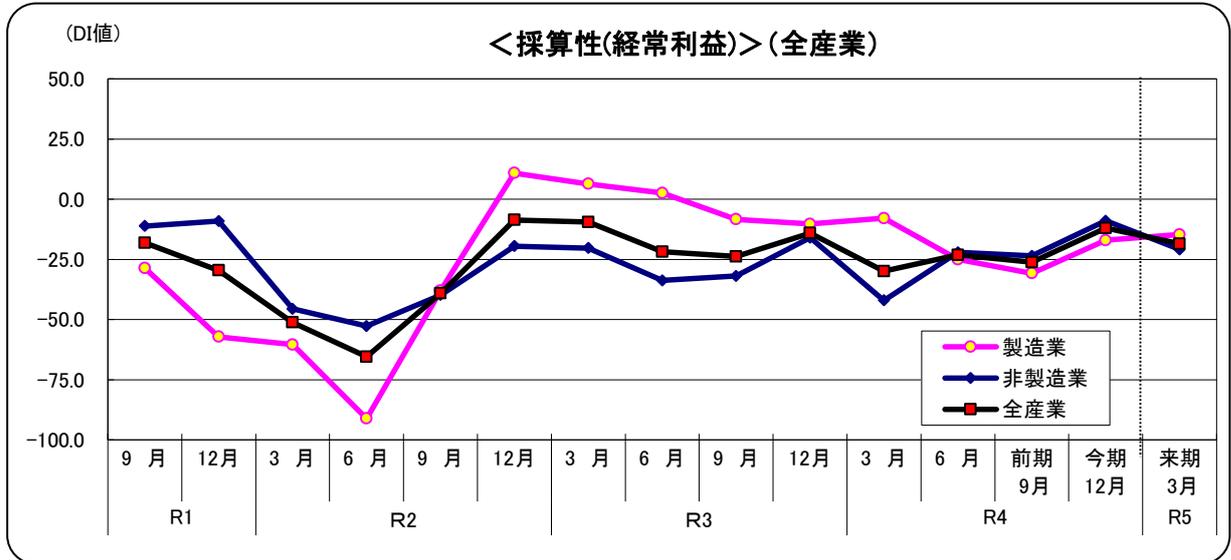
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 11.5	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 17.1	0.0	▲ 40.0	▲ 10.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 10.3
今期	3.8	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 4.9	0.0	▲ 20.0	▲ 10.0	5.9	0.0	▲ 1.9
前期	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 12.8	▲ 15.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 6.1	▲ 11.8	▲ 12.1



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 14.6	▲ 29.4	▲ 80.0	▲ 10.0	▲ 11.4	▲ 20.9	▲ 18.5
今期	▲ 3.8	▲ 28.6	▲ 50.0	▲ 17.1	▲ 17.6	▲ 40.0	20.0	▲ 8.6	▲ 9.0	▲ 12.0
前期	▲ 20.8	▲ 57.1	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 35.0	▲ 71.4	12.5	▲ 15.2	▲ 23.5	▲ 26.2



今期(第3四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=107)

エネルギーコストの増加	65社	60.7%	60.7%
原材料の高騰	62社	57.9%	57.9%
経費の増加	58社	54.2%	54.2%
仕入単価の上昇	55社	51.4%	51.4%
従業員の確保難	47社	43.9%	43.9%
新型コロナウイルスによる売上減少	19社	17.8%	17.8%
需要の停滞、売上の減少	16社	15.0%	15.0%
販売単価の低下・上昇難	11社	10.3%	10.3%
後継者の育成・確保	10社	9.3%	9.3%
競争の激化	4社	3.7%	3.7%
その他	1社	0.9%	0.9%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

染色代、電気料、原材料のUP(繊維)

	鉄工・機械 (n=26)	繊維 (n=7)	その他製造 (n=8)	建設業 (n=17)	小売業 (n=5)	卸売業 (n=10)	サービス業 (n=34)
エネルギーコストの増加	84.6%	85.7%	62.5%	41.2%	40.0%	70.0%	39.0%
原材料の高騰	69.2%	71.4%	87.5%	58.8%	60.0%	80.0%	26.8%
経費の増加	57.7%	57.1%	25.0%	58.8%	80.0%	50.0%	43.9%
仕入単価の上昇	42.3%	57.1%	75.0%	64.7%	80.0%	70.0%	29.3%
従業員の確保難	65.4%	28.6%	25.0%	41.2%	20.0%	30.0%	36.6%
新型コロナウイルスによる売上減少	11.5%	42.9%	25.0%	0.0%	20.0%	30.0%	17.1%
需要の停滞、売上の減少	11.5%	28.6%	12.5%	5.9%	20.0%	20.0%	12.2%
販売単価の低下・上昇難	7.7%	14.3%	12.5%	11.8%	40.0%	0.0%	7.3%
後継者の育成・確保	15.4%	28.6%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	4.9%
競争の激化	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	20.0%	2.4%
その他	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q具体的な問題点や対応策

原材料の値上げ。電気代の上昇（鉄工・機械）
可能な限りの価格転嫁（鉄工・機械）
客先に価格転嫁の対応依頼（鉄工・機械）
材料の値上げが多かったが、来期は電気料金も上がる（鉄工・機械）
生産効率向上と価格転嫁（鉄工・機械）
販売価格の値上げ交渉他（鉄工・機械）
エネルギーコストの増加に対しては売上単価改訂のお願いを進めている（鉄工・機械）
原材料費の値上げに対しては客観的な資料の提示が容易で値上げ申請をしやすいが、人件費やエネルギーコストの増加については1製品毎の根拠の提示が難しく、また親会社がそれを要求されるため完全な値上がり額の吸収が困難である。そのため他社が出来ない製品を作り受注単価を最初から上げている（鉄工・機械）
人材確保が課題。有料人材紹介サイト利用する等、募集強化している（鉄工・機械）
人員確保がままならないのが続いている。なんとか人材派遣で対応しているが出入りが大変激しい状態（鉄工・機械）
公的要求の増加（鉄工・機械）
付加価値の高いもの作りと売上の確保、コストダウン（繊維）
不安定な受注 生産の効率化（繊維）
電気料金の増加（繊維）
工場稼働日数を調整。製造枚数を管理し経費削減する（その他製造）
人材不足（建設業）
採用活動の強化、人材確保の強化を図っている（建設業）
従業員、新卒の確保（建設業）
ここ数年、時期により受注にムラがあり、人の確保が困難である。働き方改革により労働単価や人件費が一気に上がり採算性が悪化していく（建設業）
人材育成が急務（建設業）
原材料の高騰があっても、顧客に転嫁しにくい（小売業）
全ての物価上昇に伴う費用上昇を価格反映できない（小売業）
人手不足により営業時間を短縮しなければならないというような問題が常に起こるが、解消するのは簡単ではない（卸売業）
需要が、悪がたまりしている（卸売業）

電力料金の大幅アップや来年の値上げに、仕事量の増加もあり、電力量の削減の方策が見つからない（卸売業）
従業員の営業努力を上げる努力が必要（卸売業）
景気に合わせ、ゆっくり前進（卸売業）
軽油代・タイヤ代の上昇が激しい（運輸）
一番の深刻な問題は従業員確保。対応策なし（運輸）
各コスト増加分を運賃に転嫁出来ていない（運輸）
電気・ガスなどのエネルギーコストの増加。節約するしかない（飲食業・宿泊）
感染者が増えているのでこれからも不安（飲食業・宿泊）
すべての原材料が高くなっている（飲食業・宿泊）
仕入価格の上昇（その他サービス業）
業務改善や、工夫により経費抑制を図る（その他サービス業）
ガソリン・車両等の価格上昇（その他サービス業）
求人を継続する、外注の活用（その他サービス業）
任せられる人を雇えない（その他サービス業）

■ その他、意見・要望

①技術の習得と人間性（鉄工・機械）
②商工会議所主催の研修、教育の機会を増やしてほしい（鉄工・機械）
③電力料金の押さえ込み、現時点での増税反対（繊維）
④自分を信じて進むしかない（建設業）

会議所コメント：

①②④

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

③

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを配信しています。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。



議員・評議員各位
「小松商工会議所景気見通し調査」
「新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 _____ (個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸
 6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業

従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名
 5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

景況・業況の動向

○前期＝令和4年度第2四半期(令和4年7月～9月)

○今期＝令和4年度第3四半期(令和4年10月～12月、但し12月は見込み)

○来期＝令和4年度第4四半期(令和5年1月～3月)

	I. 今期(第3四半期)の状況	II. 来期(第4四半期)の見通し
	前期(第2四半期)と比べた 今期(第3四半期)の状況	今期(第3四半期)と比べた 来期(第4四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

今期(第3四半期) 直面している経営上の問題点(複数回答可)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇 | 3. 経費の増加 |
| 4. 販売単価の低下・上昇難 | 5. エネルギーコストの増加 |
| 6. 原材料の高騰 | 7. 需要の停滞、売上の減少 |
| 8. 従業員の確保難 | 9. 後継者の育成・確保 |
| 10. その他() | |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

新型コロナウイルスによる売上減少について

【設問1】令和3年同月と比べた令和4年11月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問2】令和3年同月と比べた令和4年10月～12月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問3】(設問2で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満 2. +20%程度 3. +30%程度 4. +40%程度 5. +50%以上

【設問4】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和4年11月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問5】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和4年10月～12月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問6】(設問5で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満 2. +20%程度 3. +30%程度 4. +40%程度 5. +50%以上

雇用情勢について

【設問7】現在の人員の充足状況についてお聞かせください。

1. 不足している 2. 過不足はない 3. 過剰である

【設問8】今年度の社員の中途採用についてお聞かせください。

1. 正規社員を中途採用した 2. 非正規社員を中途採用した
3. 正規社員、非正規社員の両方を中途採用した 4. どちらも中途採用しなかった

【設問9】来年度(R5年4月)に予定している社員の採用について、人材ごとにそれぞれお聞かせください。

- | | | | | |
|--------|-----------|--------------|-----------|----------|
| 【高卒】 | 1. 人数を増やす | 2. 現在と同程度の人数 | 3. 人数を減らす | 4. 採用しない |
| 【大卒】 | 1. 人数を増やす | 2. 現在と同程度の人数 | 3. 人数を減らす | 4. 採用しない |
| 【女性】 | 1. 人数を増やす | 2. 現在と同程度の人数 | 3. 人数を減らす | 4. 採用しない |
| 【高齢者】 | 1. 人数を増やす | 2. 現在と同程度の人数 | 3. 人数を減らす | 4. 採用しない |
| 【外国人】 | 1. 人数を増やす | 2. 現在と同程度の人数 | 3. 人数を減らす | 4. 採用しない |
| 【障がい者】 | 1. 人数を増やす | 2. 現在と同程度の人数 | 3. 人数を減らす | 4. 採用しない |

※高齢者:主に60代以上の人材

【設問10】今年度の賃金の引き上げについてお聞かせください。

1. 賃金の引き上げを行った 2. 賃金の引き上げを行わなかった

【設問11】(設問10で「選択肢1」を選択した方にお伺いします)どのような方法で賃金を引き上げましたか。

1. 月例給与 2. 賞与・一時金 3. その他()

【複数選択可】

研修・教育訓練、人材育成に対する取組みについて

【設問12】社員に対する研修・教育訓練の重要性に対するお考えをお聞かせください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に重要である | 2. やや重要である |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり重要ではない |
| 5. 全く重要ではない | |

【設問13】直近1年間に実施した、または社員を受講させた研修・教育訓練の種類をお聞かせください。【複数選択可】

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 民間企業(研修会社等)が主催する研修講座やセミナー | 2. 経済団体や公的団体が主催する研修講座やセミナー |
| 3. 行政(関連団体等含む)が主催する研修講座やセミナー | 4. 業界団体が主催する研修講座やセミナー |
| 5. 社内での集合研修 | 6. 公共職業訓練機関が実施する在職者訓練 |
| 7. 業務に関連する資格の取得支援 | 8. 社員の自己啓発への支援 |
| 9. 民間企業(研修会社等)が主催する通信教育 | 10. 特に実施していない |

【設問14】今後強化していきたい階層別の研修についてお聞かせください。【複数選択可】

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 新入社員研修 | 2. 若手社員研修(社会人2~4年目程度) |
| 3. 中堅社員研修(社会人5~9年目程度) | 4. リーダー社員研修(管理職以外) |
| 5. 管理職向け研修 | 6. 正社員以外の社員(パート、アルバイト等)向け研修 |
| 7. その他() | |

【設問15】今後強化していきたいスキルアップ、知識・ノウハウの習得に関するテーマの研修についてお聞かせください。
【複数選択可】

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 法務、コンプライアンス、リスク管理 | 2. コミュニケーション能力、プレゼンテーション |
| 3. ハラスメント防止 | 4. 人事、労務、労働法関連 |
| 5. 品質管理、生産管理 | 6. 技術・技能の習得・向上 |
| 7. パソコン(ワード、エクセル、Webサイト構築・運用) | 8. 財務、経理 |
| 9. 営業、販売 | 10. 貿易実務 |
| 11. 防災、災害対応 | 12. その他() |

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

■下記アドレス・QRコードからも回答可能です。 ※下記からご回答の際は、次回調査よりメールでのご案内となります

【令和4年度第3四半期景気見通し調査】⇒ <https://forms.gle/3sSNcuzU2WoGmYk58>

回答締切:12月22日(木)必着 (FAX:21-3120 までご返信ください)

